



RACE REPORT

全日本ロードレース第5戦 スポーツランドSUGO

粘り強い走りで見事な6位、ランキングも5位に浮上!

■コース全長:3,738m ■総客数:8,150人

8/27(土) 予選 マシントラブルで結果振るわず…決勝レースは12番手からと苦戦を強いられる



予選日の天候は曇り時々小雨。朝方は霧に覆われていましたが、走行開始前には霧がとれていました。まず決勝で使うニュータイヤの皮むき走行をTカーで3周こなし、本番用マシーンでフリー走行開始。路面は所々ウェット、約20分の中、セッティングを繰り返して走行終了。

リア周りのセッティングが詰め切れず予選を迎えることとなりました。少しウエットパッチが残る中、予選がスタート。ライバルが好タイムを出す中、なかなかタイムが出せず苦しむ野左根選手、予選中盤でニュータイヤで再度タイムアタックするもマシントラブルで結果振るわず12番手で終了。決勝レースは12番手と苦戦が強いられません。

Pos.	No.	Machine	Rider	Team	Time
1	634	CBR600RR	中上 貴晶	MuSASHIRTハルク・プロ	R 1'30.608
12	31	YZF-R6	野左根 航汰	ウェブイクチームノリックヤマハ	1'33.221

8/28(日) 決勝 チェッカー直前までギリギリの接戦！6位入賞で、年間ランキングも5位に浮上！

8月としては過ごしやすい気候となった決勝レース当日。12番手4列目イン側、真後ろにはチームメイトの齋藤 達郎選手、前方には中上選手、関口選手、小山選手など世界GPを走っていた名だたるライダーが軒を連ねているJ-GP2クラスがスタート。

野左根選手はオープニングラップ、トラブルもなくクリア、2周目には2台パスし10番手、3周目では3位を走る小山選手が痛恨の転倒りタイヤにより9番手に。モニターで区間タイムを見ているスタッフも興奮気味に。周回を重ねる度にタイムも上がり前走車を1台ずつ丁寧にパスしていき、10周目には6番手までアップ。先を行く集団はかなり離れていましたが野左根選手はあきらめずに更にタイムを縮めて5番手を追撃。やっと追い付いたのが最終ラップ。最終コーナーを抜けスリップから抜けだし、あと頭一つといったところまで追い詰めましたが6位にてゴール！！

タイム、順位ともに決して満足できるものではないですが、レースの組み立てやチームワークなど間違いなく成長していることを実感できました。ポイントランキングも現在5位となっていて、今後期待が高まります。次戦からオートポリス、岡山と続くハードスケジュールですが、この調子で走り続けますのでご期待ください！！



RESULT

決勝レース公式結果

Pos.	No.	Rider	Team	Laps
1	634	中上 貴晶	MuSASHIRTハルク・プロ	20
2	15	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	20
3	2	山口 廣也	TOHO Racing	20
4	3	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	20
5	56	中本 郡	リリカAMENA with OUTRUN	20
6	31	野左根航汰	ウェブイクチームノリックヤマハ	20

ポイントランキング

Pos.	No.	Rider	Pts.	TRM	TRM	SUGO	AP	OIC	SC
1	634	中上 貴晶	75	25	25	25			
2	15	関口 太郎	66	22	22	22			
3	3	生形 秀之	54	18	18	18			
4	77	稲垣 誠	44	16	16	12			
5	31	野左根 航汰	44	14	15	15			
6	51	高橋 英倫	41	15	13	13			

ライダーからのメッセージ



事前テストでは、目標タイムには届かなかったですけど悪くはない状態でした。手の怪我もだいぶ良くなって、7、8割くらいの調子が出るようになっていて、マシンのセットアップもいい方向にもってこれていたので、決勝では3位表彰台を目標にしていま

した。決勝レースでは、最後の最後まで頑張りましたが、結局、前を走行する中本選手を抜くことができなくて、とても悔しかったです。オートポリスのテストでは、随分タイムアップが出来たので自信ができました。次も「目指せ、5位以内！」を目標に頑張ります！
(Webike Team Norick YAMAHA 野左根 航汰)

阿部監督より「レースを終えて」

決勝日の朝のフリー走行は、思ったほどタイムが伸びず、終了間際に最終シケインで転倒を喫してしまいました。これはフロントタイヤが荒れ過ぎていたためでしたが、レースに不安を残しました。前日の予選で私の徹底に欠ける指示ミスで、タイムアタック用のリアタイヤのエアチェックをせずに出してしまい、12番手と言う不利な位置からのスタートでした。

しかし、スタートから1周目には10番手で帰って来て、周回ごとに順位を上げ中盤には6番手まで上がりました。しかし5位走行車とは5秒前後離れており、これ以上は大変かなと思いましたがラスト2周には前車を射程距離に入れ、スタッフ一同応援に力が入りましたが、度重なるアタックにもかかわらず、かわす事が出来ず、0.1秒未満の差で6位ゴールでした。

レース中も期待したようなタイムは出せなかったのですが、航汰は非常に頑張ってくれたと思います。トップ3台とは大きな隔りがありますが、ライダーの差だけではなく、まだまだマシン差も大きく、辛い中でのレースが続きますが、航汰はこの中で成長するものと思います。オートポリスの事前テストはかなり順調に進み、課題であった、アウトラップ(走りだし)から速く走ることも、ある程度克服してきました。タイムもかなり目標に近づいてきたので、今週のオートポリスのレースでは4位以内の期待が出来るとおもいます。皆様、応援よろしくお願ひします。



今回のレースは「九州モーターサイクルフェスタ」として、全日本ロードレース第6戦とFIMアジアロードレース選手権のSS600クラスとアンダーボーンのレースが開催される。

オートポリスでは、毎年イベントも数多く開催されることで好評を得ており、今回も「阿蘇ゆるっと博キャンペーンフェスタ」をはじめ、ご当地うまかもんストリート、新型2輪車展示会、試乗会、ステージイベントなど、盛り沢山の内容となっている。

[→詳しくはこちら](#)

サーキット概要

コース長	4,674m
直線長	902m
コーナー数	20
コース幅	12から15m
最大勾配	7.2%(上り) 10%(下り)
開催クラス	JSB1000/J-GP2 J-GP3/GP-MONO
併催レース	FIMアジアロードGP SS600/UB115



TOPICS

レースウィーク初日の走行が霧のため中止となり、翌日の土曜日にはフリー走行と公式予選を行わねばならない、という慌しいスケジュールとなりました。

予選中の準備ミスでマシントラブルが発生してしまい、最後までタイムを伸ばすことができなかった野左根選手には悔しい思いをさせてしまいました。

「航汰くん、本当に申し訳ございません！」と顔面蒼白で頭を下げたスタッフに、「あはは。マジっすか」と寛大な返事を返してくれた野左根選手には、救われた思いがしました。偉大な男になるには、そうこなくっちゃ！（…なんて、今後は十分気をつけます！）

決勝レースの見事な追い上げの走り、特にフィナルラップの最終コーナーからの立ち上がり、ゴール直前で前を行くライダーを抜きにかかったあの一瞬は格好よかった！次レースもチーム一丸となって頑張るぞ！シリーズ中に1回は表彰台に立ってほしいぞ！



公式サイト情報

- 🔗 Webike TeamNorick
 YAMAHA
<http://norick.webike.net/>
- 🔗 野左根 航汰選手 プロフィール
<http://norick.webike.net/nozane-kohta/>
- 🔗 参戦マシン紹介
<http://norick.webike.net/machine/>
- 🔗 2011年レーススケジュール
<http://norick.webike.net/race-schedule/>